

### 気候の変化と屋上菜園への影響

世界規模の地球温暖化の影響でしょうか、去年は台風の猛威で日本は大きな被害を受けました。台風19号は今までの記録をはるかに超える風速60mというものすごさ。成長過程にあった屋上菜園の野菜たちも、若葉を風に吹きちぎられる有様でした。今後は年を追うごとに台風の激しさが増していくかもしれません。そこで今考えているのは、移動できる屋上菜園セットです。台風の時期には建物の風当たりの弱いところ、あるいは室内に「避難」させることができる屋上菜園の試作品を作ることになりました。できましたらマンスリーニュースに写真を掲載します。

代表理事 阿部 義通

## JVEC プロジェクトの動き

### 1. 「神田の森」プロジェクト “トルコ産オリーブの木” 2

オリーブの木は日本国内では小豆島が栽培地として知られていますが、栽培のしやすさから首都圏での栽培地も増えてきました。枝や葉の姿が美しく、乾燥にも強く、施肥も簡単で、近年室内の観葉植物としても人気です。都会においては、屋上で栽培し、オフィスや店舗の観賞用として適した植物です。(伊藤)



### 2. エゴマ日記

全国的に問題となっておりますが、島根も今年はい度も雪が降っていません。私が住んでいる地域は、雪解け水がため池に溜まり、その水で米を作るので、水不足で米ができなくなることが心配です。また、気温が平年より高いためヨトウムシが大きくなり畑の被害も心配です。さて、今エゴマはもっぱら搾油中です。(柴原)



エゴマ搾油機

## 新会員紹介

### 小枝 すみ子 (こえだ すみこ) さん



神保町に子どもたちと一緒に住んでいます。便利ではありますが、ビルに囲まれた都心の暮らしの中で、癒しやホッとすることがなかなかありません。数年前から友人たちと商店街の屋上養蜂に関わってみてとても良い経験をしました。そうした中で阿部さんたちの活動(さまざまなところで取り組む屋上菜園)のを知り、都心の子どもたちやお年寄りが、日常の身近なところで屋上菜園に取り組み、朝採れのトマトやカブをサラダや味噌汁で食べることができたら、どんなに朝起きることが楽しみになるだろうかと想像するようになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

### 浜森 香織 (はまもり かおり) さん



はじめまして。昨年、ある方のご紹介で代表の阿部さんと出逢って、JVECの活動や目指しているビジョンに共感し、この度入会させて頂くことになりました。2014年頃から、畜産や稲作・露地栽培におけるスマート農業の普及に携わってい

ます。それまで知らなかった「農」の魅力(食べ物、風景、そして人とのつながり)と可能性を知って、もっと関わっていきたく思っていたので、これからの活動が楽しみです。最近種子法廃止のことも気になっています。私たちの健康にも関わる「農」を応援していきたいです。農業は全くのド素人なので、色々教えてください。どうぞよろしくお願いいたします!

### 渡辺 薫 (わたなべ かおる) さん



この度北千住ルミネの菜園のお手伝いをさせて頂く事になりました。実家の母は植物が好きなので、私も何となく真似して子供たちとベランダ菜園でトマトを育てたりしていましたが、庭がない生活の中では限界があり、今はベランダでも楽しめる多肉植物を主に育てています。しかし、家庭菜園や自家製ハーブのある生活への憧れが捨てられないままでした。そんな時に屋上菜園をお手伝いしている丸原さんにお話を伺い、とても興味を持ちました。子育て以外のコミュニティに関わるのは十数年ぶりなので、皆さんのご迷惑にならないか心配ではありますが、色々作業を通して勉強したいと思っていますのでどうぞ宜しくお願い致します。

□三井住友海上火災 栽培指導(24区画) 毎週土曜日  
 1日・8日・15日・22日・29日 指導 午前10時～12時  
 阿部・庭野  
 場所／三井住友海上火災ビル屋上(千代田区神田駿河台)

□台東区老人ホーム 栽培管理作業(2区画)  
 および講習/ワークショップ  
 6日・20日 午後2時～4時 隔週木曜日  
 阿部・庭野・丸原 場所／フレスコ浅草(台東区浅草)

□北千住ルミネ屋上菜園作業(13区画) 毎週水曜日  
 5日・12日・19日・26日 作業 午前10時～12時  
 阿部・丹羽・庭野・藤掛・丸原・森川・渡辺  
 場所／北千住ルミネ(足立区千住旭町)

□墨田区老人ホーム 栽培管理作業(6区画)および懇談会  
 12日・26日 午前9時30分～11時30分 隔週水曜日  
 阿部・丹羽・庭野・古庄 場所／こまち墨田館(墨田区押上)

## 1月の活動報告

### ◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇ 冬越し野菜と寒起し

1月の北千住ルミネの屋上は、第1週と第2週の作業日が続けて雨に見舞われるという珍しい事態になりました。野菜作りは自然に合わせなければならないことを実感します。そんな中ですが、春以降を見据えた栽培作業はスローペースながらも続いています。イチゴは枯葉などを取り除き、スナップエンドウには支柱への誘引を行いました。また夏作に向けた準備として、空き区画の土を攪拌し山状にする耕起を行いました。こうして掘り起こすことで寒さが土の内部にまで浸透し、病害虫や菌が死滅する効果が期待できます(寒起し)。また空気と触れ合わせることで固まった土がほぐれる効果も同様に期待できます。最後に有機肥料を混ぜ込みました。冬季は有機肥料が分解されるのに1か月はかかるとされていて、その間は待たなければなりません。(藤掛)



雨の屋上菜園



スナップエンドウの誘引

### ◇三井住友海上火災(株)駿河台菜園部会◇ 2月～3月は土づくり(整地・耕起・施肥)

冬は土作りの時期です。1月に相談した結果、駿河台菜園は2月14日(金)に丸1日かけて1区画6㎡を24区画(合計144㎡)の施肥・耕起作業をします。3月13日(金)にもう1度、耕起をして整地。ここまで準備ができれば、次の日から種まきと苗の植付けができます。(阿部・庭野)

### ◇墨田区老人ホーム部会 こまち墨田館◇ 年間イベントのひとつ「ハーブカフェ」計画中

こまち墨田館の建物は5階建てで屋上の半分が庭園、残り半分が菜園となっています。そしてこの屋上の素晴らしさは、ほぼ360度の風景が見渡せることです。目の前にはスカイツリーがそびえています。この景色を利用して、暖かい季節になったら、屋上で採れたイチゴを使ったお菓子とハーブで「屋上ハーブカフェ」を楽しむことを計画しました。

(庭野・阿部)



鳥除けネットで  
スナップエンドウ苗を保護

### ◇台東区老人ホーム部会 フレスコ浅草◇ 地域交流・展示会での野菜出展に向けて

フレスコ浅草の屋上菜園は「野菜栽培を特徴とした菜園が地域交流の場になる」ことを目標に、近くは2月のリバーサイド展示会へ向けて冬野菜を育てています。イチゴの苗、ネギなど屋上で育った野菜を通してフレスコ浅草の屋上菜園活動を展示会に来た人たちに知っていただけるといいですね。(阿部・庭野)

▼ JVECホームページは毎月更新されています。会員の皆様は是非ご覧ください。→<https://www.jvec.jp/> /